

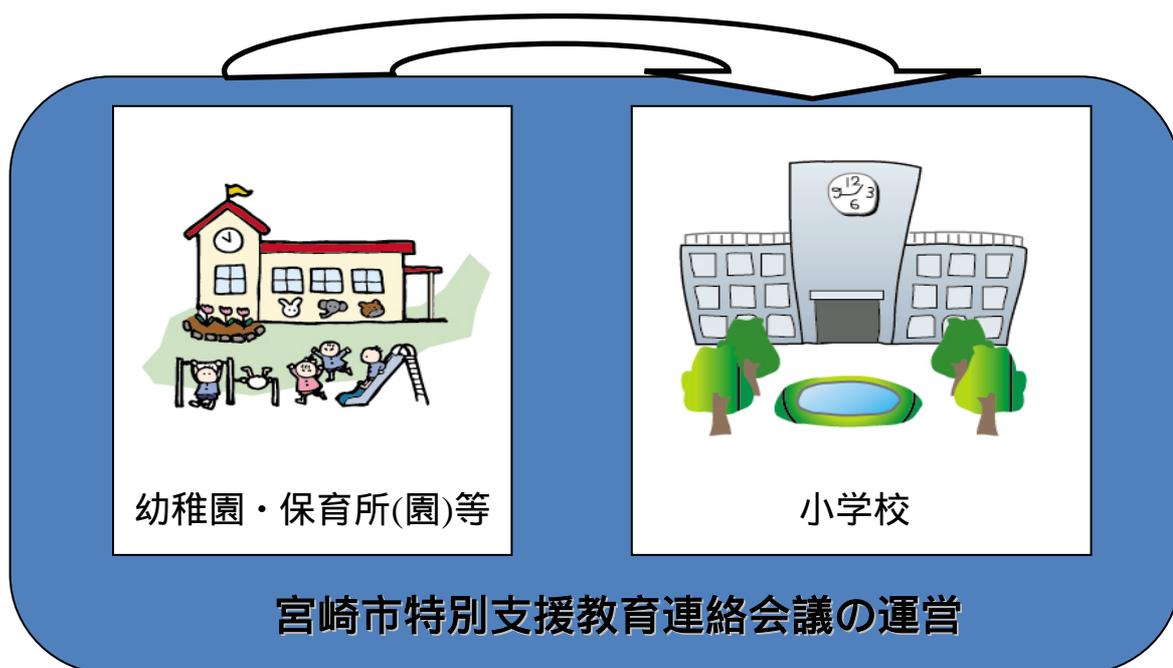
幼稚園・保育所（園）等と 小学校の連携手引き

幼児期と学齢期では、子どもたちの生活や活動内容に大きな違いがあります。子どもたちを見守る環境そのものも、幼稚園や保育所（園）等と、小学校では違いがあります。

その違いの中で最も困難を感じるのは、子ども自身です。子どもたちが感じる困難を少しでも減らしてあげるためには、保護者の方や幼稚園や保育所（園）で見守ってきた先生方が持っている情報や支援の方法を、小学校に伝えていく必要があります。

子どもたちへの支援を継続していくために、幼稚園・保育所（園）等と小学校が連携の輪を広げていきましょう。

幼稚園・保育所（園）等から学校への情報提供の方法 引き継ぎシート作成



宮崎市自立支援協議会（平成26年2月改訂）

幼稚園・保育所（園）等から学校への情報提供の方法

配慮すべきことは・・・

すでに診断のある幼児についても、まだ気づきの段階にある幼児についても、その保護者の思いは複雑です。心配なこともたくさんありますが、相談すること自体にも躊躇^{ちゆうちゆう}される思いがあることは少なくありません。保護者の思いや診断の有無などによって、どのような対応が考えられるのかを（表1）に示しています。どのようなことができるのか、それぞれのパターンを参考にしながら対応を図ってみましょう。

原則として個人情報の受け渡しは、保護者の承諾が必要であることにご留意ください。

（表1）

保護者の思い 小学校への相談	診断等	就学までの相談 幼・保、小間の連携	関係機関の動き	連携主体
保護者の同意あり	診断あり	就学相談委員会への相談を勧める 実態表や引き継ぎシートなどに基づいた引き継ぎ	関係機関とのつながりがある場合は、関係機関による小学校との個別引き継ぎ、及び継続支援を行うことができる 関係機関とのつながりがない場合は、教育や福祉の相談機関を紹介し、小学校入学以後の連携の基盤を作る	保護者 幼稚園 保育所(園) 小学校 関係機関
	診断なし	小学校との個別引き継ぎ	小学校入学以後の支援や相談が継続して行えるよう、関係機関の紹介や、関係機関を交えた相談を勧める	保護者 幼稚園 保育所(園) 小学校
保護者の同意なし	診断あり	小学校コーディネーター(以下CO)による園訪問を依頼 特別支援教育連絡会議にて情報交換	幼稚園・保育所(園)等は保護者との相談を継続し、引き継ぎの必要性について理解を促していく 関係機関とのつながりがある場合は、関係機関からも小学校への引き継ぎの重要性について保護者に伝え、引き継ぎについて保護者の同意を得ていく	幼稚園 保育所(園) 小学校 関係機関
	診断なし	指導要録、保育要録による引き継ぎ	幼稚園・保育所(園)等は保護者との相談を継続し、引き継ぎの必要性について理解を促していく 小学校入学以後の支援や相談が継続して行えるよう、関係機関の紹介や関係機関を交えた相談を勧める	幼稚園 保育所(園) 小学校 関係機関

フォーマルな進め方（保護者の同意がある場合）

園 保護者との相談を行う

- 就学先や就学形態(通常の学級、特別支援学級)などについて保護者の意向を聞き取る。
- 学校生活において必要なサポートについて整理する。
- 宮崎市教育委員会 就学相談委員会への相談を勧める。
- 就学に関する情報が必要な際は特別支援学校コーディネーター(以下CO)、小学校COと情報交換を行う。
- 福祉サービスや生活に関する相談がある場合は福祉CO(相談支援専門員)とも連携を図る。(園・保護者 COに連絡)

保護者・本人が、宮崎市教育委員会 就学相談委員会に相談する。

園は、保護者同意を得て就学先との情報交換を行う。(就学先の小学校COと連絡を取る)

入学までの準備・入学後の学校生活(学習面・放課後など)について、必要に応じて家族や関わっている関係機関などとケア会議や面談を実施する。

引き継ぎシート作成

1 ねらい

- ・ 支援が必要な子ども一人一人に対する支援を継続的に行うため、幼稚園・保育所（園）等の支援内容を、次年度就学する小学校へ引き継ぐことを目的とした資料です。
- ・ 小学校が子ども一人一人の教育的ニーズに応じ、個別にきめ細かな指導を行うために、子どもの様子を詳しく把握するために必要なものです。
- ・ 障がいの診断等の有無にかかわらず、保護者が小学校への情報提供に承諾されている場合に作成する引き継ぎ資料として参考にしてください。

2 記入について

子どもを知る手がかりとして、実態把握を行います。家庭や幼稚園・保育所（園）等での様子を、保護者と園の先生が共に確認し記入していきます。担任の先生と保護者で協力して記入していきましょう。

1 ページ目は、子どもに関する基礎情報（プロフィール）です。ご家庭の状況など、差し支えない範囲で記入していきましょう。

2 ページ以降は、子どもの様子について項目ごとに記入していきます。苦手なことだけではなく、得意なことや好きなことを具体的に記入していきましょう。特に引き継いでいくべき情報がない項目については、記入しなくてもかまいません。

記入が終わったら、保護者に記載内容の確認と、シートの取り扱いについての説明を行います。保護者に内容等に承諾いただけた場合は、確認欄に署名、押印をお願いします。

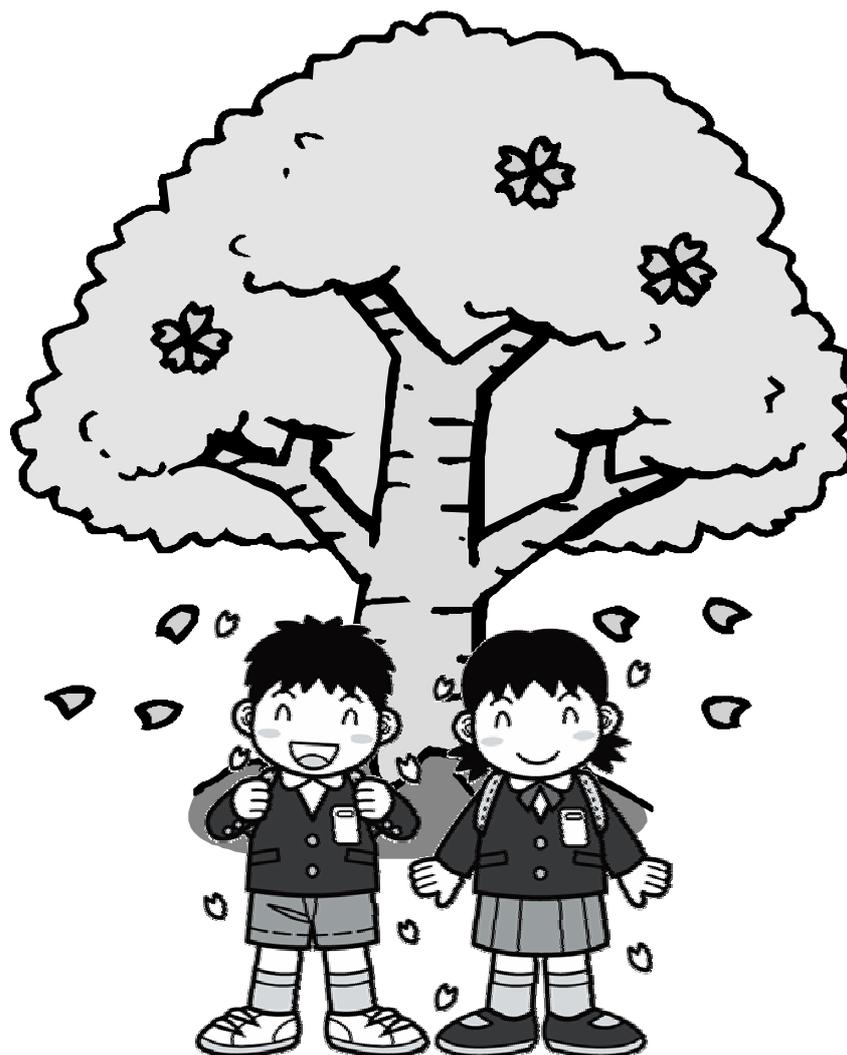
シートは保護者用と園用の2部作っておくと良いでしょう。小学校への受け渡しは、できるだけ保護者が直接小学校に渡すようにします。

3 守秘義務について

本内容は、あくまでも継続的に指導、支援をするために活用するもので、それ以外の目的で使用することはありません。また、個人的な情報を公開、開示することはありません。取り扱いについても十分留意して、関係者は秘密を守ります。

引き継ぎシート(就学前用)

児童名()



守秘義務について

本内容は、あくまでも継続的に指導、支援をするために活用するもので、それ以外の目的で使用することはありません。また、個人的な情報を公開、開示することはありません。取り扱いについても十分留意して、関係者は秘密を守ります。

確認欄

引き継ぎシートの内容について確認しました。本シートの取り扱いに関する説明を受け、記載内容について引継書として活用することを承諾します。

保護者氏名

印

園名 ()

(プロフィール)

(ふりがな) 児童名	性別	男・女	生年月日	H	年	月	日生
(ふりがな) 保護者名	家族構成		続柄	氏名			
連絡先	自宅 () 携帯 () 携帯 ()							
住所	〒							
医療面での 配慮事項	かかりつけ医							
平熱	(年 月 時点)							
相談歴 (相談した相手、 時期、内容など)	H	年	月					
	H	年	月					
	H	年	月					
	H	年	月					
その他の 特記事項	手帳・診断等の情報							

特に支援が必要な項目（複数可）

残りのシートを記入した後で、その中でも特に支援が必要な項目に☑を付けてください。

食 事

トイレ

着替え

移 動

日常生活その他（洗面、歯磨き、整理整頓など）

遊びや興味・関心

コミュニケーションの様子

対人関係の様子（子どもたちや先生とのかかわり）

集団活動や行事等への参加の様子

行動

食 事 (あてはまるものにレを付けてください。)

使える食器類	お箸	スプーン	フォーク	ストロー	コップ
食事の様子	一人で食べる 食べるのが早い 食べることに集中できにくい 量を多く食べる 好き嫌いがある		部分的に支援が必要 食べるのが遅い 手づかみになる		全面的に支援が必要 あまり噛まない 食が細い 食ベムラがある
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> これまでの支援や配慮 </div>					

トイレ (あてはまるものにレを付けてください。)

使えるもの	男子用トイレ	和式トイレ	洋式トイレ
排尿について	一人でできる 水を流す 回数が多い	部分的に支援が必要 衣服を汚すことがある 回数が少ない	全面的に支援が必要
使えるもの	和式トイレ	洋式トイレ	
排便について	一人でできる お尻を拭ける 衣服を汚すことがある	部分的に支援が必要 水を流す	全面的に支援が必要
その他	自分で手を洗う		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> これまでの支援や配慮 </div>			

足りない項目もあると思いますので、必要な項目があれば空欄に書き加えてください。

着替え（あてはまるものにレを付けてください。）

使えるもの ズボン、パンツ、 スカート	ボタン 一人でできる 前後を間違ふことがある	ファスナー 部分的に支援が必要 前後を間違ふことがある	ホック 全面的に支援が必要 表裏を間違ふことがある	ひも結び 全面的に支援が必要
使えるもの シャツ、上着	ボタン 一人でできる 前後を間違ふことがある	ファスナー 部分的に支援が必要 前後を間違ふことがある	ホック 全面的に支援が必要 表裏を間違ふことがある	
靴下、靴	一人でできる 左右を間違ふことがある かかとを踏んでいる	部分的に支援が必要 すぐに脱いでしまう	全面的に支援が必要	
その他	シャツを入れる（身だしなみ）		脱いだものを片付ける	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> これまでの支援や配慮 </div>				

移 動（あてはまるものにレを付けてください。）

階段上り	一人で上る	手すりが必要	不安定で見守りや支援が必要
階段降り	一人で降りる	手すりが必要	不安定で見守りや支援が必要
道路や廊下	一人でできる 段差で転びやすい 信号を見て渡る	部分的に支援が必要 周りに気をつける 交通ルールが分かる	全面的に支援が必要 急な飛び出し
場所への移動	一人でできる みんなで一緒に移動する 列に並んで歩く	部分的に支援が必要 身近なところで目的の場所が分かる	全面的に支援が必要
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> これまでの支援や配慮 </div>			

足りない項目もあると思いますので、必要な項目があれば空欄に書き加えてください。

日常生活その他（洗面、歯磨き、整理整頓など）

（あてはまるものにレを付けてください。）

洗面	一人でできる	部分的に支援が必要	全面的に支援が必要
手洗い	一人でできる	部分的に支援が必要	全面的に支援が必要
歯磨き	一人でできる	部分的に支援が必要	全面的に支援が必要
うがい	一人でできる	部分的に支援が必要	全面的に支援が必要
整理整頓	一人でできる	部分的に支援が必要	全面的に支援が必要
準備	一人でできる	部分的に支援が必要	全面的に支援が必要
睡眠	おおよその就寝時間（ 時～ 時） 1人で寝ることができる 寝付くと朝まで寝ている 寝付くまでに時間がかかる 家族の誰かと一緒に寝る 睡眠時間が不安定である		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> これまでの支援や配慮 </div>			

遊びや興味・関心（あてはまるものに やレを付けてください。）

好きな遊び	興味・関心が強いこと
苦手な活動（ ）やあまり興味を示さないこと（レ）	
手が汚れる活動（粘土・のり等） 合奏 初めての遊びややり方がわからない遊び等 大きな音（非常ベル・ピストル・スピーカーの音・泣き声・人の大声等） その他 {	水遊び 読み聞かせ 身体に触れること 臭い }
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> これまでの支援や配慮 </div>	

足りない項目もあると思いますので、必要な項目があれば空欄に書き加えてください。

集団活動や行事等への参加の様子

活動内容	参加の様子	支援や配慮が必要なこと
読み聞かせ		
制作活動		
運動会		
遠足		
発表会		
その他		

行動（あてはまるものにレを付けてください。）

特定のものや行動にこだわるところがある じっとしていることが苦手 初めての場所や人に馴染むのに時間がかかる 大事な物をなくしてしまうことがある 人づきあいや友達づくりが苦手である カッとなったり、イライラしたりしやすい パニックになってしまうことがある 興味関心が偏っている 不安になったり、怯えたりすることがある 落ち込みやすい 人目を気にしすぎるところがある 活動に途中から参加することが苦手である	本人独特の癖や話し方がある 気が散りやすい 集団での行動が苦手である 突発的に行動してしまうことがある おしゃべりが好きでなかなか止まらない 迷子になってしまうことがある 運動や細かな作業など不器用な面がある 気持ちを切り替えるのに時間がかかる テンションが上がりやすい じっとしていて、あまり動かない 人目をほとんど気にしない
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> これまでの支援や配慮 </div>	

足りない項目もあると思いますので、必要な項目があれば空欄に書き加えてください。

宮崎市特別支援教育連絡会議の運営について

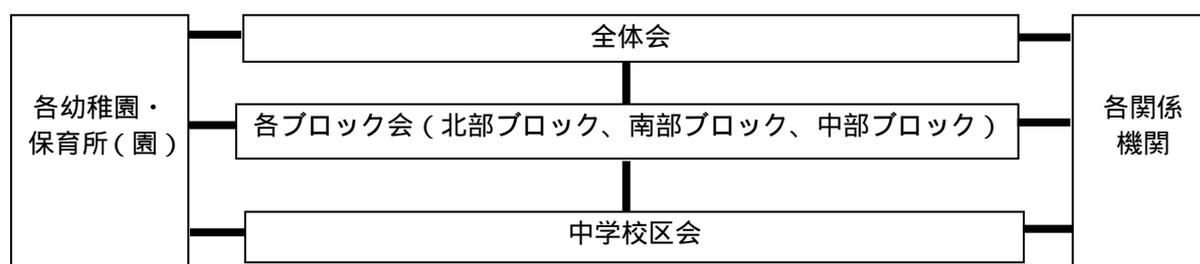
【目的】

この連絡会議は、「地域ごとに、特別支援学校や小・中学校、幼稚園・保育所（園）、医療・福祉機関等の専門機関が連携協力し地域全体で支援するための、教育や福祉等を含めた部局横断型の会議」であり、本連絡会議の設置によって、関係者や各関係機関との連携を充実させるとともに、地域の実態を踏まえた対策やそれぞれの立場でのよりよい支援の在り方を協議していくものです。

平成24年度より発足

1 組織

全体会、特別支援学校ごとのブロック会、中学校区ごとの中学校区会の3つの会で構成しています。



2 内容

【全体会】

全体会では、連携機関の支援体制等について確認するとともに、中学校区連絡会議の先進事例の発表等を行います。

【各ブロック会】

特別支援学校ごとに、北部ブロック、南部ブロック、中部ブロックの3つに分け、特別支援学校との連携の在り方について協議を行います。

【中学校区会】

中学校区会は、本連絡会議の中心的な会議であり、それぞれの中学校区ごとに、幼保小中・関係機関の連携の在り方について協議します。

- (例)
- ・ 研修会の在り方について
 - ・ ケース会議の持ち方について
 - ・ クラス編成の在り方について
 - ・ 実態把握の仕方について
 - ・ 相談体制の在り方について
 - ・ 立場の違いによる児童生徒理解の在り方について 等

宮崎市特別支援教育連絡会議 実践例（宮崎市宮崎西中校区）

< 経緯 >

平成 22 年度	<p>10月：自立支援協議会からの働きかけにより、「宮崎西中校区特別支援教育連絡会」を立ち上げることを決定。</p> <p>11月、12月：3校合同コーディネーター会。連絡会打ち合わせ。</p> <p>2月：第1回宮崎西中学校区特別支援教育連絡会議（小戸小にて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出会者...みやざき中央支援学校コーディネーター、小戸小学校校長、小中学校コーディネーター、宮崎西中学校区内の幼稚園、保育所（園）の代表者、宮崎市教育委員会、宮崎市社会福祉事業団、宮崎市障害福祉課 ・ 内容...自己紹介、幼・保・小・中・連携の説明、これからの活動、情報交換
平成 23 年度 (当番校：宮崎西中)	<p>5月、6月：3校合同コーディネーター会。連絡打ち合わせ。</p> <p style="text-align: center;">第23年度第1回連絡会議（にっこり会）</p> <p>にっこり会...にし中校区 つなぎあおう こころと心 りかい深めて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容...年間計画について、情報交換 <p>11月：3校合同コーディネーター会。連絡打ち合わせ。</p> <p>12月：平成23年度第2回連絡会議（にっこり会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容...幼・保・小・中の特別支援教育について、連携の具体的な方法について、小学校の行事について、情報交換 <p>1月：3校合同コーディネーター会。連絡打ち合わせ。</p> <p>2月：平成23年度第3回連絡会議（にっこり会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容...保健師による講話。幼・保・小・中連携の課題、今後の活動、各学校の状況、情報交換
平成 24 年度 (当番校：西池小)	<p>6月：平成24年度第1回連絡会議（にっこり会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容...今年度の計画、自己紹介、にっこり会の意義、1年生担任との情報交換 <p>11月：平成24年度第2回連絡会議（にっこり会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容...幼稚園・保育所（園）見学報告、就学時検診について、講話「ことばについて」講師 山下優子教諭（小戸小学校 言語通級指導教室担当） <p>2月：平成24年度第3回連絡会議（にっこり会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容...気になる幼児・児童の支援について（事例紹介）、今年度の反省
平成 25 年度 (当番校：小戸小)	<p>6月：平成25年度第1回連絡会議（にっこり会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容...今年度の計画、自己紹介、にっこり会の意義、1年生担任との情報交換 <p>10月：平成25年度第2回連絡会議（にっこり会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容...幼稚園・保育所（園）見学報告、就学時検診について、気になる子どもの支援について <p style="text-align: right;">（H26.1月現在）</p>

< 成果と課題 >

- 成果**
- ・ お互いに顔を合わせること（FACE TO FACE）ができた。
 - ・ 幼・保・小・中のそれぞれの特別支援教育についての実態や状況を知ることができた。
 - ・ 就学前、就学後の園児・児童の情報交換ができた。
 - ・ 関係機関（保育士、福祉関係）との連携が取れるようになった。
- 課題**
- ・ 連絡会を実施するまでの事前の打ち合わせの日程調整がむずかしい。
 - ・ 連絡会の内容についての事前連絡が不十分であった。

参考

〈宮崎市自立支援協議会とは〉

平成19年7月、当時の障害者自立支援法（平成17年法律第123号）第77条第1項及び宮崎市自立支援協議会要綱に基づき、設置しました。平成24年改正障害者自立支援法が施行され、法第89条の2に、また、平成25年に障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）が施行され、同年4月1日から同法第89条の3第1項に位置づけられました。

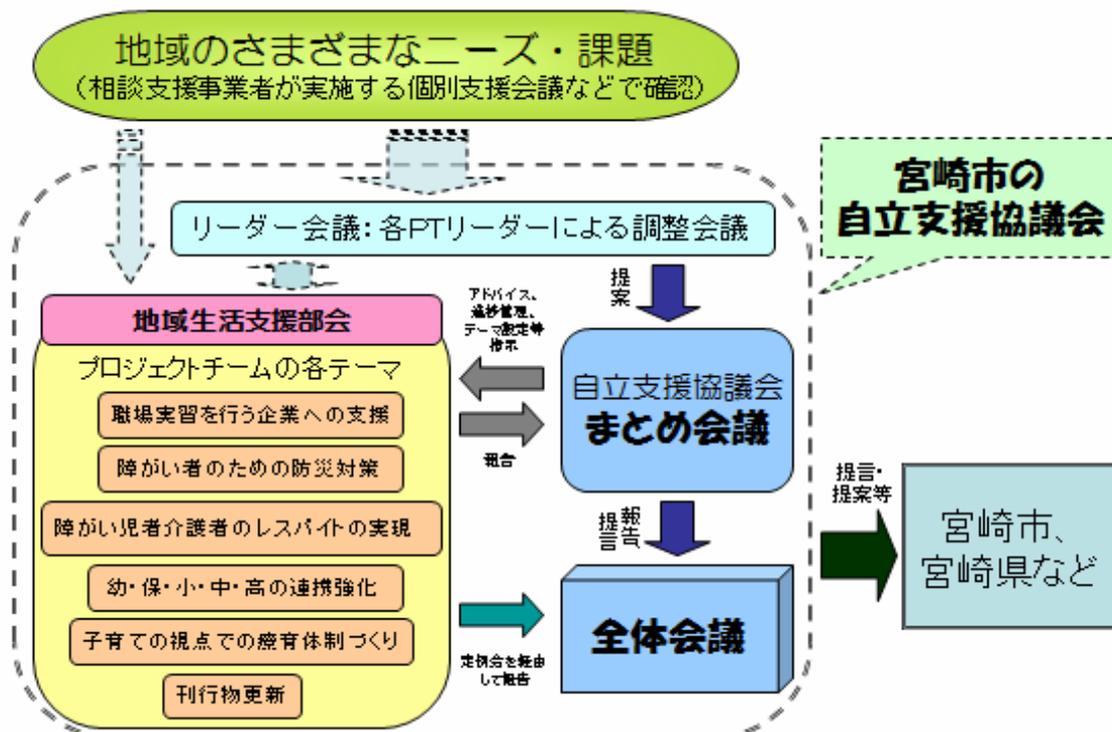
「誰もが住みよいまち」づくりを実現していくため、障がいのある方々のよりよい生活について考えていくことを目的としています。障がいのある方々は日常生活において多くの困りごと・課題に直面しています。それらの課題を直視し、できる範囲での対応策・解決策を模索し、実現につなげていくため、自立支援協議会において皆さんの知恵と力を合わせて協議しています。

テーマごとに検討チーム（地域生活支援部会）を設け、それぞれのテーマについて役割分担をして協議を進めています。平成25年度からは6つの個別テーマに沿ってプロジェクトチームが設置され協議を進めていきます。また、年に数回「全体会議」又は「まとめ会議」が開催され、各プロジェクトの協議状況等を全体で共有するしくみになっています。

〈本プロジェクトチームの構成メンバー〉

- ・特別支援学校 ・小中学校 ・高等学校 ・保育会 ・幼稚園協会
- ・相談支援事業者 ・障がい児者団体（保護者） ・障がい児支援施設
- ・市学校教育課 ・市健康支援課 ・市地域保健課 ・市障がい福祉課 など

〈自立支援協議会の組織図〉



【本冊子に関する問い合わせ】

宮崎市福祉部障がい福祉課

(自立支援協議会担当)

TEL: 0985-21-1772 FAX: 0985-21-1776

<http://www.city.miyazaki.miyazaki.jp>

E-mail: 10syogai@city.miyazaki.miyazaki.jp